

令和6年度第1回日進市立西小学校適正化対策検討部会 議事録

日 時 令和6年5月30日（木）午後3時30分から午後5時まで
 場 所 日進市役所北庁舎2階 会議室
 出 席 者 高田由紀、志賀直仁、大津正仁、山田徹、浅井金敏、伊藤敏之、
 黒田祐旬、酒井秋光、小林義和、林茂実、中島浩貴、安永亜希子
 （敬称略）
 欠 席 者 なし
 事 務 局 伊東あゆみ（生涯学習部長）、伊藤泰裕（同部次長兼学習政策課長）、
 高柳秀史（学習政策課担当課長）、加藤敦（同課主幹）、加藤大輔（同課
 施設係長）
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 有 3名

- 次 第
- 1 あいさつ
 - 2 委員の委嘱
 - 3 正副部会長の選出
 - 4 部会の位置付けと会議スケジュールについて
 - 5 西小学校校舎における現状と課題について
 - 6 西小学校の適正化対策について
 - 7 その他

- 配付資料
- ・ 次第
 - ・ 委員名簿
 - ・ 資料1 日進市立西小学校適正化対策検討部会の位置付け
 - ・ 資料2 西小学校校舎における現状と課題
 - ・ 資料3 施設配置図
 - ・ 資料4 日進市内学校区人口推計報告書（西小学校抜粋）
 - ・ 資料5 日進市立小中学校適正規模等検討委員会での意見まとめ
 - ・ 資料6 西小学校の適正化対策について

発言者	発言内容
事務局	本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。 ただいまより令和6年度第1回日進市立西小学校適正化対策検討部会を開催いたします。 本日の会議について、委員12名のうち、1名の方から遅れるとの連絡がありましたが、全員出席ということで成立いたします。 それでは次第をご覧ください。次第の1「あいさつ」です。 始めに、生涯学習部長の伊東あゆみよりごあいさつ申し上げます。
生涯学習部長	（あいさつ）
事務局	次に、次第の2「委員の委嘱」です。委員の皆様には委嘱書を机上に

	置かせていただいております。 委嘱期間は、令和6年5月30日から令和7年3月31日までとなります。なお、任期は1年弱となりますが、年度末まで定期的に部会を開催するということではなく、10月頃までに3回程度集中して会議を開催していく予定としております。 本日は最初の会議ということですので、委員の皆様から自己紹介を順にお願いします。
委員	(自己紹介)
事務局	委員の皆様、ありがとうございました。 続きまして、事務局職員ですが、お手元に名簿を配付いたしましたのでご確認ください。よろしくお願いいたします。 ここで生涯学習部長は他の公務のため退席させていただきますので、よろしくお願いいたします。 次に、次第の3「正副部会長の選出」を行います。 「日進市立西小学校適正化対策検討部会設置要領」の規定により、部会長は委員の互選により定めることとなっております。 部会長の選任についてご意見はございませんか。
委員	小中学校関係者としてご出席いただいている日進西中学校の大津委員を推薦いたします。大津委員は日進西中学校の校長として、学区である西小学校の状況についてもよくご存知でありますので、適任であると考えますので推薦します。
事務局	ただいま、大津委員を部会長に推薦するご意見がありましたが、その他ご意見ありますでしょうか。 (しばらく間があり) それでは、大津委員を部会長に選任することに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	(全員賛成)
事務局	全員賛成ですので、大津委員を部会長に選任します。大津部会長よろしくお願いいたします。それでは大津部会長におかれましては、部会長席の方へ移動をお願いします。
部会長	(部会長席へ移動) 部会長を仰せつかりました大津です。よろしくお願いいたします。
事務局	次に副部会長については、部会長が指名することとなっています。大津部会長から副部会長の指名をお願い致します。
部会長	赤池小学校長の志賀直仁委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	(異議なし)

事務局	志賀委員におかれましては副部会長席の方へご移動をお願いいたします。それでは議事に入る前に、資料の確認をお願いします。 事前に配布した資料は、 ・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 資料 1 日進市立西小学校適正化対策検討部会の位置付け ・ 資料 2 西小学校校舎における現状と課題 ・ 資料 3 施設配置図 ・ 資料 4 日進市内学校区人口推計報告書（西小学校抜粋） ・ 資料 5 日進市立小中学校適正規模等検討委員会での意見まとめ ・ 資料 6 西小学校の適正化対策について 以上です。不足がありましたら申し出ください。 それでは、以後の議事進行は、大津部会長をお願いしたいと思います。
部会長	それでは、議事の進行を引き継ぎます。委員の皆様には、円滑な議事進行にご協力いただきますようお願いいたします。 本部会は傍聴が可能な会議となっていますが、本日は傍聴希望者がありますか。
事務局	3名の傍聴希望があります。
部会長	本日は、個人情報等の公開に該当する部分はありません。 委員の皆様の同意を得て入室を許可したいと思いますと思いますが、よろしいですか。 （意見はなし） それでは、傍聴者をお通しください。 （傍聴者入室） 傍聴の方は、傍聴のマナーをお守りいただきますようお願いいたします。 では、次第の4「部会の位置付けと会議スケジュールについて」、事務局から説明をお願いします。
事務局	（資料に基づき説明）
部会長	ありがとうございました。 事務局からの説明に対し、意見、質問等がございますか。 （意見、質問等なし） それでは、審議に移っていききたいと思います。 次第の5「西小学校校舎における現状と課題について」、説明をお願いします。
事務局	（資料に基づき説明）
部会長	ありがとうございました。

	ただいま、老朽化の進行、教室数の不足、敷地面積の狭小、新たな教育環境への対応、騒音への対応、隣接道路への対応の6点について、事務局から説明していただきました。この説明に対して、ご意見、ご質問等はいかがでしょうか。
委員	資料2の教室の不足の部分について、今後、普通学級数が30学級まで増加する見込みで、使用可能教室数は26教室と記載してありますが、資料4の3ページには利用可能な教室数は29教室とあります。この数字の違いは何でしょうか。
事務局	使用可能教室について、資料4の表には29と記載されていることに関しては、資料4の西小学校の配置図をご覧ください。現在、西小学校で使用されている教室は、普通教室利用可能教室26室、特別支援学級用教室4室です。特別支援学級用教室のうち3室が普通教室に転用可能であるため、合計29室としています。 ただ、特別支援の児童数については、現状は把握できますが、今後の推移は不明でありますので、将来の児童数については、全員が普通学級に通うものとしてカウントした経緯があり、表現に違いがでたものです。
部会長	普通教室という仕様ですが、使い方により特別支援の児童への対応もできるということで、単なる数の見込みではないということでもあります。 実際に学校運営していく際は、単に数があるからではなく、学年の配置等のバランスも考慮する必要があり、ある程度、空間に余裕を持たせることも視野に入れておく必要があります。 どうしても、大きさが話題になりますが、学校だけのことだけではなく、周辺住民への配慮も重要だという内容も含まれておりますので、他の委員の意見もお伺いしたいと思います。 学校を新たに作っていくにしても、学校の中だけで収まるものではなく、周辺環境のこともしっかり考えて進めていくべきということでしょうか。
事務局	はい。周辺環境も含めて課題があると考えています。
部会長	この後、事務局からは様々な検討課題に対して、提案があると思いますので、委員の皆様よろしく申し上げます。 では、次第の6「西小学校の適正化対策について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料に基づき説明)
部会長	ありがとうございました。 西小学校の適正化対策として、現在の場所に建て替えるか、移転する

	かを様々な点から比較検討した内容を説明していただきました。 現敷地での建て替えは、高低差が大きいことから拡張が困難であることや、騒音問題、工事エリアと子どもたちの学習環境との動線区分けの難しさ等が課題としてあり、移転での建て替えは、通学路の再検討、用地購入費の問題等が課題として整理されています。 西小学校のことでありますので、現在の西小学校の校長先生である高田委員のご意見を伺えればと思いますが、いかがでしょうか。
委員	建築面の問題については、専門家の判断が示されていますので、使用者の立場から意見を述べさせていただきます。私は平成１８年から３年間、西小学校に勤務し、その後、校長として再度、赴任しましたが、懐かしさ以上に、校内の様々な設備等が相変わらずで、さらに不具合が進んでいると感じているところです。 特に児童用のトイレが水漏れし、修理しても、次から次へと水漏れが発生する状況です。また、先日は家庭科室でも調理実習中に漏水が発生し、水回りの不具合がここ２年ほどは多発しています。 教室の窓枠のゆがみも多々見られ、昇降口にある大きなガラスの扉も最近、不具合が生じています。 階段の手すりも数ヶ所ぐらついており、問題箇所が多々発生しています。問題箇所を学習政策課に連絡すれば迅速に対応してもらっていますが、複数箇所となると修繕費もかさみ、担当職員の負担も大きいと感じます。 長寿命化対策工事だけでは、これらの問題の改善が難しいということになると、できるだけ早い時期に校舎の建て替えという方針を進めてもらえると良いと考えます。 建て替えには、事務局が示すようにある程度の年数がかかると思いますが、今現在、西小学校に通っている子どもたちの学びの場に大きな影響が出ないようにしていただくとともに、将来、西小学校に通う子どもたちにとって安心安全な学校となるよう、ぜひ最善の選択をしていただきたいと学校長としては思います。
部会長	ちなみに、この長寿命化対策工事が８０年まで利用するための工事と書かれているが、８０年というのは、長寿命化に手をつけてから８０年ということでしょうか。
事務局	これは、築８０年を目指すものです。
部会長	つまり、現時点で５０年以上経っており、対策しても残りは３０年足らずということでしょうか。
事務局	そのとおりです。
部会長	それでは、長寿命化対策工事をして、３０年足らずで、また対応を

	迫られることとなり、その際は長寿命化対策の選択肢はなくなるということだと思います。 先日、愛知県立日進西高等学校を見学しました。今、日進西高等学校などの県立学校では、施設の長寿命化を図っているいろいろな手を入れています。校舎中の塗装、外装、トイレなどは綺麗になっていましたが、バリアフリー等の新たな基準について改善しているわけではなく、長寿命化で対応されているという印象を受けました。 西小学校で長寿命化の手法を取り入れるよりも、専門的な観点から見ても、最新基準へ対応した、建て替えの方向で進めていくのが理に適うのではないかと思います。 老朽化対策としては、事務局からの説明で長寿命化への改善が困難であることの説明もありましたので、本部会としては、建て替えの方向で検討してはどうかと思います。建て替えを現敷地で行うか、移転して行うかに関して、ご意見等はございますか。
委員	移転の方向が妥当ではないかと感じます。 建築業の視点から、用地を現敷地の北側や西側に延ばすことは不可能ではありません。例えば用水路のルートを変えて敷地に取り込むことは、現行技術で可能ですが、余分な経費がかかることになります。 限られた予算の中で、用地買収の予算がどれぐらいかは未知数な部分もありますが、単純計算 1 万平米以上は買わないと文部科学省の基準をクリアしないと思います。 また、高低差の問題をクリアするためには、現状の西小学校の北側の校舎の高さまで変える必要があると思います。その場合、かなり県道との高低差が生まれることになり、予算が膨らむと思います。 あと重視するのは、4 年にわたる工事期間における周辺住民と児童のフラストレーションです。学区編成にも影響があるかもしれませんが、方針としては、移転先での建て替えを行う方が良いと感じます。
部会長	他の委員はいかがでしょう。
委員	西小学校の周辺道路の狭さは実感しています。そのため、移転しての建て替えもありだと思います。
委員	費用面は分かりませんが、子どものことを考えると、周辺道路が狭く、限られた敷地の中で建て替えを行うよりは、移転をして新たな場所で建てた方がよいと思います。 4 年間、建て替えにかかるということは、小学校 6 年間のうちの 4 年間を工事期間中に過ごすこととなり、あまりにもかわいそうだと感じます。小学校の思い出がずっと工事だったということにもなりかねません。

	また、小学校は震災などの有事の際、避難所になることも想定されています。校長先生のお話にあったトイレの状況等を考えると、地震が起これと言われている中、そこに大人数が避難するのは不安があります。費用面のことは分かりませんが、移転の方が良いと感じます。
委員	皆さん同様、基本的には移転が現実的だと思いますが、今の校区に通う児童、保護者含め、場所が今のところから大きく異なると、反対意見が出るのではないのでしょうか。PTAの中でもそのような話が出ました。自分が元々住んでいる場所とは真逆の場所になったりすると、そのつもりではなかったという話が多く出るのではないかと思います。
部会長	今は移転が良いと言っても、移転後のその先のイメージは湧きにくいかもしれません。
委員	新しく移転するのであれば、今、挙げられている問題だけでなく、災害の際の対応、避難経路、また、実際に児童が安全に通うことができる場所かといった問題について、よく検討する必要があると思います。
部会長	建て替えで対応する場合であっても、移転か現在の場所かについては、慎重に進めていかないといけないと思います。適正規模検討委員会でも話題になったところだと考えられます。
委員	私は適正規模等検討委員会でも委員を務めていますが、第1回検討委員会で西小学校の議論をした際に、老朽化に対して長寿命化対策のように補強で対応することは考えにくく、建て替えが選択肢に挙がり、西小学校の敷地周辺を拡張して建て替えるか、あるいはどこかへ移転するかは2択ではないかと意見が出ました。 学校側の立場としては、今の場所で建て替えるとなると、子どもたちは既存の校舎で授業を受けながら、建築可能なスペースに新しい校舎を建て、その後、一部の児童が新校舎に移り、その後に古い校舎を壊して、そのスペースに新たに校舎を建てるという方法になると考えられます。 今の西小学校の人数規模を考えると、この工事を2回、3回繰り返す行わないと、新しい校舎へ全員、移動することは難しく、工事が長期化すると、子どもたちが本当に授業に集中できるか疑問に思います。 自分が子どもの頃、児童数が増大し、校舎が増設されました。自分が通ったのは転校後の3年間でしたが、そのうち2年間は新しい校舎が次々と建設され、騒音や振動が大きかったと記憶しています。そういう経験もあるので、子どもたちにはできるだけそのような教育環境ではなく、通常の落ち着いた環境で学習ができる方がいいと強く思います。 工事を繰り返し長期化することを考慮すると、先ほどの委員の意見

	のように、6年間のうちの4年間をこのような経験と思いを持って卒業していくのも気の毒なので、移転をした方がいいと思います。
委員	適正規模等検討委員会でも意見が出ましたが、今、通っている子どもたちにとっては、移転することで環境が良くなる子もいれば、当然、距離が遠くなる子も出てくると思いますので、今後、協議やアンケートなどを繰り返しながら、理解を得る必要があると考えます。 しかし、西小学校の子どもたちが卒業後に行くのは日進西中学校で、西小学校をどこかに移転する前提で校区内を見渡すと、素人考えで言えば、今の小学校よりも西側に広がる農地の方が、大きく敷地を確保でき、適当ではないかと思います。日進西中学校に通うことを考慮して、日進西中学校周辺を移転先にしたらどうかという意見は適正規模検討委員会でも出ましたので、その意見も踏まえて、皆様に考えてほしいと思います。
部会長	先ほど資料の5の⑥にありますように、日進西中学校の近くに大規模な小学校を建設すれば、西小学校の課題だけでなく、今後の赤池小学校の課題解決の可能性にもつながると考えられ、移転をする視点で可能性を探っていくことで、様々なアイデアが広がるのではといった意見だと解釈しますが、委員の皆様いかがでしょうか。
委員	これまでの皆さんのお話と意見を伺うと、移転の方が、子どもたちへの影響等を踏まえると、今現在の考えの中ではベストだと思います。
委員	私も移転が良いと思います。そもそも西小学校は昔から赤池町の人と折戸町の人があり、現在の位置になったと聞いています。現在はそうではないため、移転により、適正な場所に移せるのかもしれないなと思います。私は約2キロの距離を30分かけて通学していました。もう少し近くの方がいいということも考えられますので、移転はいいかなとは思っています。
委員	今の流れでは、移転という方向ですが、西小学校の南東側の一部の調整区域を含めた用地の拡大ができない理由ももう少し整理が必要ではないかと感じました。 例えば、今のプールがある場所のさらに東側の部分は、道路用地が絡んでおり、拡張ができない等、様々な事情があるかと思います。 また、西小学校の拡張が難しい理由に水路があるという点が挙げられていますが、日進西中学校の下にも水路が通っていますので、その辺りは、理由にならないかと思いました。 移転する場合であっても、西小学校の古さをどのように生かすかという点は、また別の機会に考えていきたいと思っています。
部会長	委員のご指摘の通り、まだ検討が不十分なところがありますので、こ

	こまでの意見をもとに事務局内で精査してもらう必要があると思います。 他の委員は、いかがでしょうか。
委員	私も皆さんのご意見を伺い、新しい場所に新校舎を作る方が良いと思います。ただ、先の委員の意見でもありましたが、メリットばかり挙げるのではなく、移転先については、様々な選択肢を検討したほうが良いと思いました。
部会長	始まりは老朽化対策をどのような手法で解決するかといった議論でしたが、本日の議論では、長寿命化による対応よりも、建て替えをするべきだという点が明確になりました。建て替えにおいても、今の場所で行うのか、今の場所を拡張して行うのか、それとも移転先を探るのかといった点で、部会として考えていく必要があると思います。
委員	建て替えの方に話が進んでいますが、莫大な費用がかかりますので、必ず税金を無駄に使うなどという人がいると思います。その人の気持ちになって考えてみると、長寿命化での対応で、今後25年は持つのではないかと考えられると思います。 25年後の人口としては、全国的に減っていることが予想されます。西小学校を地図上で見ると、北側に香久山小学校、南側に南小学校、赤池小学校がありますので、西小学校がなくなったら隣接する学校に分散すれば、対応できるのではないかとという考えもありますので、意見として申し上げます。 ただ私の子どもも西小学校に通わせています。見た目は古いなと思っており、雰囲気があってよいですが、もし建て替えてバリアフリーになる等、良い環境を子どもに与えられるのであれば、そちらの方が良いと思います。私も建て替えに賛成の立場ですのでよろしくお願いします。
部会長	建て替えするにしても、このような議論を経ていくべきだと思います。 各委員以外の意見も本部会の判断材料となると思います。先ほど、保護者アンケートや地域住民等への説明会を検討中とのことでしたが、事務局はどのようにお考えでしょうか。
事務局	今後の予定の中でご説明した通り、保護者アンケートや地域住民説明会の実施を検討中です。西小学校の保護者に関しては、一斉配信システムを利用したアンケートを考えています。 地域の方々への説明会も含め、第2回の検討部会の前に実施したいと考えています。
部会長	第2回の検討部会が8月予定ということで、約2か月程度しかあり

	ませんが、本日の意見を踏まえて準備期間を考慮すると、アンケートや地域の皆様の声を聞く機会を作ることは可能なのでしょうか。
事務局	ご指摘のように、地域の方々への説明会を開催する場合、会場確保や周知期間等を考慮すると、第2回の8月末までの間に実施することは厳しいと感じます。そのため、第2回の検討部会の日程については、再検討し、決定次第、皆様へお知らせいたします。
部会長	部会の皆様も、検討を始めたばかりでありますので、今後、深く考える必要があります。 本日の部会で出た意見を事務局で整理していただき、今後、アンケートや地域の方への説明会等を実施したうえで、第2回の部会を開催する方向としたいと思います。事務局の皆様、よろしくお願いします。
委員	スピード感ある検討は必要ですが、基本的な考え方はしっかり整えておく必要があると思います。 この地域は、回覧方式を1か月に1回程度行っています。途中、随時行うことも可能ですが、取りまとめるにも日数がかかりますので、やれるところからスピーディーに進めていただければと思います。
部会長	しっかり足元を固めて理解を得ようというところですね。
部会長	他に心配な点や、見落としている重要なことなど、気付いたことはありますか。 今後、皆様の中でも、気付いたことがあれば事務局に投げてくださいようお願いしたいと思います。 時間も限られていますので、本日はここまでといたします。 次第7「その他」について事務局からお願いします。
事務局	第2回目の部会については、西小学校保護者へのアンケート、地域への説明会開催等も踏まえて、スケジュールを調整し、開催日時・場所を改めて連絡させていただきます。
部会長	改めて連絡が来るということですが、皆さんも地域で話題にしてください、それぞれの立場から他の方の声も拾ってほしいと思います。 本日予定していた内容は終了しましたので事務局へお返しします。
事務局	各委員の皆様、長時間にわたり熱心なご審議いただきありがとうございました。 以上をもちまして、令和6年度第1回日進市立西小学校適正化対策検討部会を閉会します。